

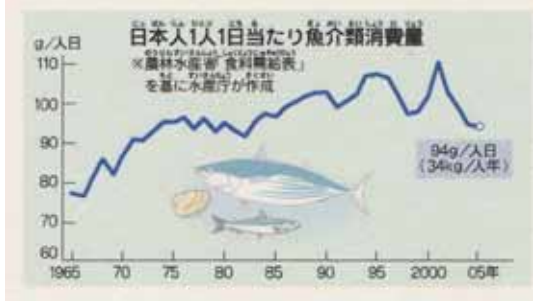

N I E 授業実践案

平成19年7月3日(火)
 研究主任 菊池 健一

1. 単元名：5年社会科 「水産業のさかんな枕崎市」

2. 本時のねらい

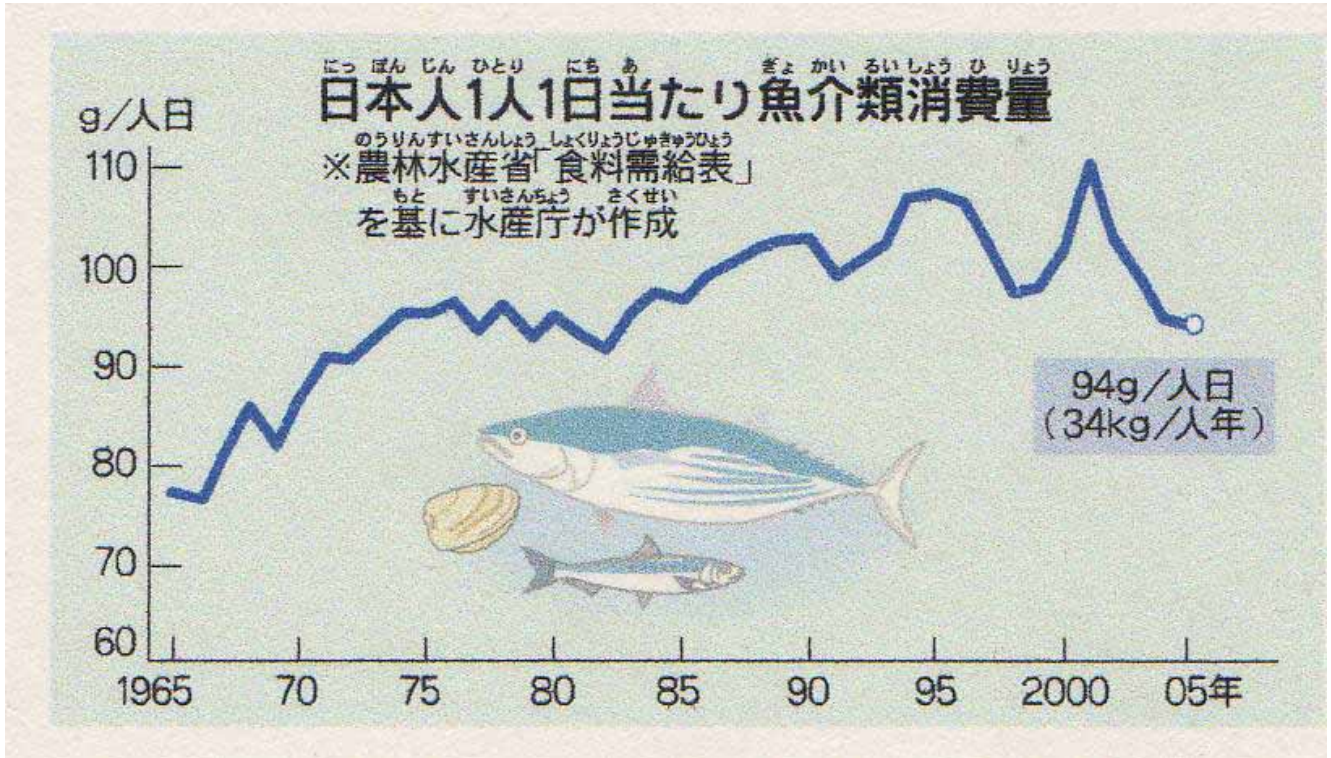
日本の水産業が抱えている問題点について理解し、自分なりの考えを持つことができる。

学 習 活 動	指導上の留意点
<p>1. 日本の水産業の現状を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かったことをノートに書く。 原因を推測する。 考えたことを発表する。 <p>この資料をもとに記事を書く</p> 	<p>グラフを見て、日本人の魚を食べる量が減っていることに着目させる。</p> <p>これまでの学習などから量が減っている原因について考えるようにさせる。</p> <p>ワークシートに記事を書かせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「値段が高いからじゃないかな？」</p> <p>「魚の数が減っているからじゃないかな？」</p> <p>「魚嫌いが多くなってきたのではないかな？」</p> </div> 
<p>2. 「毎日小学生新聞」の記事から原因を読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>子どもが魚を嫌い 魚は肉類より値段が高いと思われている。 調理が面倒</p> </div>	<p>原因をノートに書かせるようにする。</p> <p>原因について考えたことも書かせるようにする。</p> <p>児童全員に新聞のプリントを配布する。</p> <p>記事の大切な部分に線を引くなどの印を付けるようにさせる。</p> <p>見出しを意識させる。</p> <p>漁業に携わる人が少なくなっているグラフも示すようにする。</p>
<p>3. 国内水産業に有利なことについて知る。</p>	<p>日本水産業のよい点について読み取るようにさせる。</p> <p>事前に家庭でどのくらい魚が食べられているかをアンケートなどで調査しておく。</p> <p>児童に発表させるようにする。</p>
<p>4. 学習のまとめをする。</p>	<p>学習の感想を述べる。</p> <p>学んだことを振り返る。</p>

社会科ワークシート

組 名前 ()

次の資料を参考に新聞記事づくりに挑戦してみよう。



【見出し】

この授業で分かったことをまとめよう。

授業の感想をまとめよう。